



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和5年10月3日(火)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

14

八高祭の総合閉会式において、次の話をしました。

文化祭と体育祭、あわせて三日間の第75回八高祭が閉幕します。文化祭では、演劇、展示、ビデオ、パフォーマンスのすべてを通じて、「時間と空間を超越する」という場面や、テーマや、メッセージが数多く見られました。時間や空間を超えて、「つながる」「つながりたい」という願いや、未来へ「つなげたい」という気持ちが随所に見られた、と感じます。「神」が登場する場面も見られましたし、LGBTQ（性の捉え方）や、アンドロイドと人間、人間の根源的苦悩に目を向けた作品もありました。

時間や空間は、わたしたちの手ではコントロールできないギャップ・溝を生み出しているかに見えます。同時に、わたしたちは、時間や空間の溝、あるいは人の心と心の溝、現実と理想の溝を、容易に埋めることはできないけれども、そこをなんとかしたいと切に願うハートを持って生きているのです。だから、生きていることはすばらしいのではないのでしょうか。

さて、人は忘れる生き物ですが、同時に決して忘れてはならないものがある。それは、皆さんがこの八高祭を通じて投げかけてくれた、「つながる」「つながりたい」「つなげたい」という、人間だからこそ持ちうる宝物のような感情、切なる願いにほかなりません。

八高祭が、これから長い道のりをひたすらに歩む八高生の皆さんに大いなる勇気を与えてくれることを願い、講評とします。